

兵庫県商工新聞

編集委員会
発行
兵庫県商工団体連合会
〒652-0811
神戸市兵庫区新開地4-4-12
☎ (078) 341-0563 (代)
FAX (078) 341-0885
http://www.hyoshoren.co.jp/
Email: info@hyoshoren.co.jp

(部内資料)
2022年6月
第358号

私たちの 願い実現へ 政治をかえよう



【参議院選挙】
ロシアのウクライナ侵略に乗じて、元首相や維新の会が「アメリカとの核共有を議論すべき」と平和を壊す危険な発言を繰り返しています。岸田政権は、「敵基地攻撃能力の保有を」と憲法9条に自衛隊を明記し、いつでもどこでもアメリカと共に、「戦争する国」へと突き進んでいます。過去最高の軍事費が毎年予算化される一方、国民のいのちとくらしを守る社会保障費は削減の一途をたっています。

戦争か平和かが問われる中、がいよいよ参議院選挙が始まります。私たちが政治を変えましょう。
インバウンドに頼らない経済を
吉岡卓也さん
(通関業) 【灘民商】
私は、通関業をしています。ですが、コロナ禍により日本に積荷が入らなくなりました。というのも、材料・燃料をとにかく確保するために、アメリカがコンテナを独占し、世界中がコンテナ不足になり、日本・中国間を

選挙でキツパリ審判

はじめとするアジア圏の運賃が倍近くに高騰しました。そうなる中中小業者は持ち堪える体力がないので、運輸業務そのものを控えます。中小業者が仕事から手を引いているので、大企業は運賃の高いまま大量作業により利潤をあげています。そこにきてドル高や燃料代等の高騰で、中小業者はひたすら赤字覚悟で高騰した運賃と少ない積荷を取り合いしながら営業を続けています。利益は相当下がりましたが、インフレのため、一次支援金や復活事業支援金などは受けられることができません。融資でしのいでいます。それも限界がきて返済が始まっています。



ロシア抗議デモ (5月7日)

日本は長年、経済成長ができていません。世界的な災害がおされば私たち中小業者は持ちこたえることはできません。ロシアがウクライナに侵攻を始めたが、これをチャンスとばかりに改憲を進め、核兵

きません。本当に強い経済力をつけるのであればインバウンド頼みやインボイスで弱い中小業者から税金を搾り取るのではなく、「優しく強い経済」をつくるのが大切です。参議院選挙で政治の流れを変え、中小業者が地域で商売が続けられる社会をつくりましょう。



【美容】 【明石民商】
平和憲法を生かす政治を
福本幸子さん
私は沖縄県出身で、叔父を戦争で亡くし、祖母からも戦争時の話をよく聞きました。ベトナム戦争時は、子供でしたが米軍の飛行機が夜間でもゴーという音を立てて降りてくる怖さを今でも鮮明に覚えています。ロシアがウクライナに侵攻を始めたが、これをチャンスとばかりに改憲を進め、核兵

全商連第55回定期総会開催



5月22日、全商連第55回総会が東京のメイン会場と各地を結び開催され、代議員・評議員650人が参加しました。民商・兵商連は、神戸市内の会場から45人がオンラインで参加。全商連・太田会長は、アメリカの言いなりに軍事費をGDP比2%まで増やそうとしている岸田政権を批判。「一人ひとりの中小業者が知恵を出し合い、団結して地域に根を張った強く

大きな民商・全商連をつくらう」と呼びかけました。その後、岡崎民人事務局長から常任理事会報告があり、「参議院選挙で悪政に審判を下し要求を実現するために、決起しよう」と訴えました。全体会討論では13人が発言。兵庫民商の片山正久会長が、切実な要求に寄り添い、要求運動と組織拡大に奮闘する決意を述べました。

【建設業】 【神戸西民商】
平和でこそ商売繁盛
平田武彦さん
日本には、憲法9条があるから私たちは平和で安心して仕事ができます。

【明石・芝本通信員】
私は、戦前から反戦平和を訴え、消費税減税で頑張る党を応援します。



国会では、改憲派が憲法改正をして日本を戦争する国に変えるために、翼賛体制を構築する動きが見え隠れしています。今年の参議院選挙では、どうせ何も変わらないと思わず、私たち国民のことを第一に考え、情熱を持って行動してくれる政治家を選びたいと思います。岸田総理は、GDP 2%の防衛費の増額を打ち出していますが、本当にそれが国民のためなのか疑問です。政治家には、国民のくらし・商売の実態を見て欲しい。「平和でこそ商売繁盛」消費税減税とインボイス制度の実施中止、改憲阻止の運動を地域から巻き起こし、政治を変えましょう。

▼日本は自由な民主国家なのか？ロシア、中国、北朝鮮のことを批判できる国だろうか？
▼各地で発生している言論統制、政治家へのヤジで警察官の威嚇行為。次々発布される表現・言論の自由に関する法整備の動き。憲法で保障された言論の自由が侵される由々しき状況が生まれている。戦前に回帰したような、国民の目、口、耳を塞ぐ強権的な政府のやり方には断固反対。また、ウクライナ情勢に乗じた権力者の無責任な発言には反感を覚える▼我々商人は「平和でこそ商売繁盛」のもと日々頑張っているものの、未だ収束しないコロナ禍や、急激な円安、物価高、資材の高騰、商品納期の遅延で困窮している▼今こそ国民の命とくらしを守る政治に転換すべきだ。消費税を5%に戻し、全国に500万者ともいわれる免税業者を淘汰するインボイス制度の中止を強く求める。大企業、アメリカがべったり政治から国民が主人公の政治へ、参議院選挙で政治の流れを変えよう。(K)

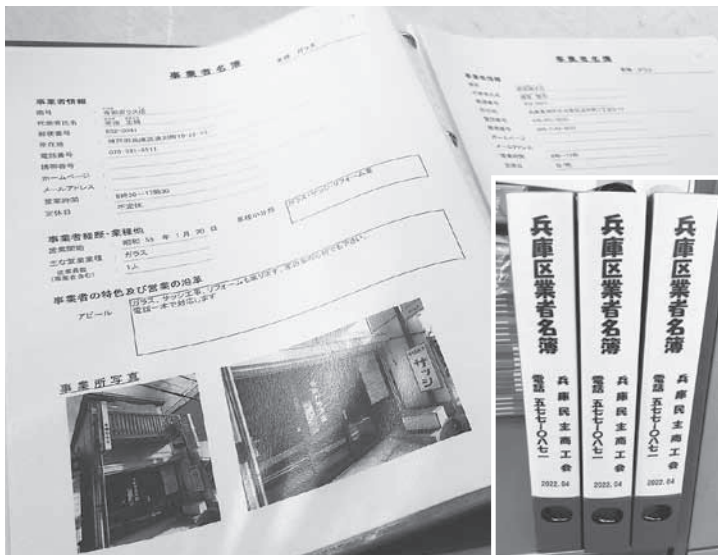


力合わせ、要求実現

地元の業者に発注を

【兵庫民商】

兵庫民商は4月に神戸市兵庫区内の小中学校及び神戸市中部建設事務所、兵庫区役所など約20カ所を訪問し、



会員の情報が掲載された「兵庫区業者名簿」を手渡しました。

業者名簿には建設や電気関連、弁当宅配や

整備院など102件の会員が載っています。この「兵庫区業者名簿」は2年に一度更新。今回で5回目の更新となります。最初の2012年に神戸市内の民商が集まった神戸市協議会で神戸市教育委員会と懇談。地域経済の活性化を訴え教育委員会からの紹介をうけて、兵庫区内の小中学校を訪問し、業者名簿(当時48件掲載)を渡したのが始まりです。そこから2014年、2017年、2019年と名簿を更新してきました。

そして、毎年の神戸市教育委員会との懇談、学校訪問では「市立小中学校が発注する小規模工事や物品調達

は地元の業者に発注を」と働きかけます。学校で対応した教頭先生は、「私たちも赴任して地域の状況がわからない中、こういった地域の情報が載った名簿は助かる。出来る限り地域の業者さんに発注します」と歓迎されています。

この間、この取り組みを通じ、トイレの改修などの工事を請けた会員も出ています。

兵庫民商ではこの名簿を神戸市だけでなく、兵庫県立の学校や保育所・幼稚園などにも名簿を持っていき、活用してもらおうと準備を進めています。(兵庫・平松通信員)

民商に出会えてよかった

熊野祥之さん

(塗装業) (葺合民商)

2021年7月に税務署から連絡があり、「3年分の税務調査をしたい」との事でした。

人たちを見て「絶対に戦争をしてはいけない。日本はマスメディアの改憲派よりの報道で、国民の意見が憲法改正へと移動し始めている。日本国憲法を絶対に守らなくてはならない」と報告。

消費税率の引上げやインボイス制度、国民監視が強まる中、市民社会は闘わなければ平和憲法が守れない状況になっていきます。平和憲法が健全であって欲しいと思うばかりの憲法集会でした。

どうしたら良いかと知り合いに相談をした所、「民商」に相談したら」と言われ、早速地元の民商を探して葺合民商に連絡をしました。

税理士への支払いが困難な事とコロナ禍で2019年と2020年の申告が遅れていることを相談したら「青色申告(複式簿記)がない」と報告。

消費税率の引上げやインボイス制度、国民監視が強まる中、市民社会は闘わなければ平和憲法が守れない状況になっていきます。平和憲法が健全であって欲しいと思うばかりの憲法集会でした。

消費税率の引上げやインボイス制度、国民監視が強まる中、市民社会は闘わなければ平和憲法が守れない状況になっていきます。平和憲法が健全であって欲しいと思うばかりの憲法集会でした。

私の商売ものがたり

NO.232

香川由記さん (美容) 相生民商



家庭と仕事の両立

髪の毛を触ったり、ヘアアレンジが好きだった香川由記さん。高校卒業後、資格を

とり姫路で10年以上美容師に勤めました。二人目の子どもが生まれる時、子育てと仕事の両立が難しくなり、「自営ならできるかも」と、家を建てるタイミングで自宅の一部を店舗にして独立開業。そして、家庭と仕事を両立するため、カットとカラー、

ので記帳をして初日を迎えますよ」と言われ、一緒にお手伝いしていただきました。

初めての税務調査の上で、数回に分けて調査を受けました。

納得のいく税務調査で終了しましたが、税金の支払いが困難なために「換価の猶予」を学習し調査終了後すぐに「換価の猶予」を提出しました。

現在も支払いが続いている中、2021年の申告所得税と消費税がまた、のしかかってきました。そこで「換価の猶予」を早速申請。

しかし、「今年の換価は猶予できない」と税務署から連絡が入り、「な

パーマにしほり、お客さんの口コミと紹介だけで営業しています。「母は子どもの面倒を見に来てくれる上、知り合いに私の美容室の事も話してくれ、常連さんにつながっています。本当に感謝です」と香川さん。

コロナ禍では、「感染が怖いから行けない」というお客さんや、逆に「貸し切りだから」と来てくれたお

客さんも。子育て世代のお客さんからは「相生にこういうお店があったよかった」と小さい子どもと一緒に来店する方もありました。「3人目の子が生まれて子育てもこれから。今は家庭優先で、子どもが大きくなったから仕事に全力を注ぎたいな」と話してくれました。

「相生・嶋津通信員」

niko☆

〒678-0021
相生市赤坂
2丁目

経営情報

6月には国保料(税)納入通知書が届きます。コロナ禍を起因とした失業・収入減による健康や命にかかわる困窮事例が噴出し、深刻化しています。新型コロナウイルス感染症の影響による国保料減免制度の活用、払いきれない国保料(税)は換価の猶予を申請しましょう。相談は民商へ。

編集後記

コロナ禍での支援策はこのまま終わるのか。感染者が高止まりの中、「お客さんが戻らない」と悲痛な声が寄せられる。商売とくらしはさらにきびしさを増している。国や自治体には、さらなる支援策を願う。(H)

平和と憲法を守ろう



5・3憲法集会に参加して

酒井正秀さん

(婦人服小売・高砂民商)

五月晴れの青空の下、色々な団体から3千人が神戸みなのもり公園に集まりました。

開演前の新井深絵さんのミニコンサートはノリノリでいい雰囲気でした。堅苦しい雰囲気から始まるより気分も盛り上がりです。コロナ禍で大規模な集会が出来なかったが、人が集まって行動するというのは充実感があり

野村昭子さん

(美容・神戸北民商)

ジャーナリストの金平茂紀さんの講演では、ロシアがウクライナを攻撃した2月24日にウクライナに入りシエルターに逃げ込む

生は、「私たちも赴任して地域の状況がわからない中、こういった地域の情報が載った名簿は助かる。出来る限り地域の業者さんに発注します」と歓迎されています。